

学校給食センター運営にかかる検討委員会 議事録

日 時：平成27年9月30日（水）19：30～21：20

場 所：多可町学校給食センター 2階 研修室

出席者：21名（別紙名簿参照）

欠席者：4名

司会進行：事務局

1. 開会 19:30

2. あいさつ

岸原教育長、笹倉委員長

3. 協議事項 進行：笹倉委員長

1) 検討委員会の公開等について

会議の公開および議事録の公表について意見聴取をしたところ異議がなかったため、次回より傍聴席を設けて委員会を開催することに決定

2) 調理業務の委託について

委員長より前委員会のまとめの説明があり、「民間委託をする方向で会議を終えたが、その後の各々のご意見を伺いたい」と意見聴取。おおむね次のとおり。

【各委員からの意見】

委 員：前回の勉強会で、費用対効果を含め民間委託の効果を示す資料を今回提示するという話だったが、資料はできていますか。

事務局：（追加資料を配布）ご覧のとおり調理員の人件費は現状では5,000万円、民間委託した場合は約6,200万円と約2割増し。理想的な形として半分を正職員（9名）、半分を嘱託職員（9名）とした場合、7,600万円となっている。正職2名という状況の中で、調理員全員が一生懸命業務に携わり、安全安心な給食を提供できているが、人員確保の面で非常に不安定状況である。解決案としては前述の2案であるが、現在よりもコストがかかる。しかし、これは安全安心のためには必要なこととご理解いただきたい。

委 員：現在給食センターで実際に働いている調理員はどのような意見ですか。

事務局：このような検討委員会を立ち上げ民間委託について検討していく旨、調理員に説明し、ミーティングを行いました。「なぜ今民間委託なのですか？」「私たちは一

生懸命やっています。どこに問題があるのですか?」「若い調理員を前に不安な話ばかり出さないでほしい。」とお叱りを受けています。もし、民間委託の方向性が確定しても、雇用の確保を約束いただく方向で進めると説明しています。

委員：民間委託の方向性で検討していけばよいと思います。業者選定を予算内でしていくことは不安もあるが、その方向でしてほしい。

委員：保護者としては安全安心を求めます。一品減った時の子供のショックは大きい。安全安心のための民間委託であれば仕方ないと思います。給食費が変わらないのであれば問題ない。

委員：保護者としては安全安心が第一。調理員のインフルエンザ対応等も想定すると、不安だと思うので民間委託でその点が安定するのであれば賛成です。民間委託運営になると具体的にどうなるのかを教えてほしい。

委員：民間委託になる場合、いつから委託するのか。来年春からであれば早急に対応が必要。

委員：民間委託したほうがよいと思う。アレルギーなどの細かな対応がどうなるのかは気になる。早く進めたほうがよい。

委員：学校としては安心が一番。雇用のことまでは見えていなかった。正職を増員することで嘱託職員がやめる傾向がなくなり、人数が安定するかどうかは疑問であり、その保証がないのであれば民間委託するほうがよい。

委員：一品減った時の子供のショックは大きかった。人が足りなくて運営が揺らぐのであれば民間委託で安定したほうがよい。

事務局：今年の欠品は、給食センター内で配缶時に髪の毛の混入が発見されたことにより配送を止めました。また、2年前の欠品については、調理機材の金属片が混入した可能性があり配送を止めました。人員不足が原因ではないことを誤解がないようご理解いただきたい。

委員：今安心して食べています。民間委託になった時に果たして安心できるのか。民間業者は利益を追求するが、どこでその利益を求めるのか。人件費削減。民間委託のメリットは。正職が2名ということであるが、そうなるまで補充せず、今になって民間委託で安全安心を求める前に正職の採用は考えなかったのか。この経緯に納得ができない。

事務局：在籍していた正職員は、定年もしくは個人的な理由で退職していきました。このように欠員ができた場合は嘱託職員採用で補っていくことになっています。放っておいたわけではありません。

委員：利益を求める民間運営になったときにどうなるのか。現職は委託業者に雇用されても給与が減れば士気が下がる。正職9名の案を採用した場合と民間委託した場合の差はどれほどなのか。遥かに正職9名案のほうがクオリティが高いのであれば、それも検討の価値があるのではないか。「民間委託になってコストダウンする

のが狙い。大丈夫。」と考えるのが民意だと思う。誤解を招かないように住民への広報が非常に難しいと思う。

委員：民間委託に対する抵抗感があると思う。町の職員が誇りを持って作っている給食を民間委託すると、どこかドライな感じがする。安心、安全、安定の大事なキーワードが守られるのであれば、民間委託もありかと思う。

委員：民間委託の方向で仕方ないかと思う。丹波市が民間委託に移行した時に市内の学校に勤務していましたが、当時多少の不安がありました。しかし、委託後、業者の従業員と接する機会が多くあり、本当に熱心な人たちでした。ただ、栄養士の苦労は、多くなると思います。

委員：正職員の増員が理想です。給食センター設立当初 5 名いましたが正職員が今は 2 名です。予定より早い減少で、2 名での管理は厳しいです。重い物を運ぶことも多く、男性調理員もほしいです。正職採用ができないのであれば、解決策としては民間委託しかないのかなとは思いますが、現在も全職員一生懸命やっています。民間委託になると調理員とのコンタクトが難しくなるのではという不安があります。民間委託している他市町からは、衛生管理の説明などが難しいと聞いています。書類チェックが多くなるなど、管理が大変らしいです。今の人数では厳しいが、増やすことができないのであれば民間委託するしか仕方がないのかと思います。

委員：民間委託するしか仕方がないと思いますが、こちらの要望を業者がどこまで受け入れるのか。監視役として栄養士が現場に入るのはどうかと思います。業者選定時にその辺を細かくチェックしてほしいです。

委員：職員の不安、子供の問題（アレルギー、給食費）、業者の選定、保護者の抵抗感、利益追従による愛情の減少などの意見が出ましたが、これらのことについて事務局としての回答と先日の丹波市視察結果の説明をお願いしたい。

事務局：視察（8/31 柏原氷上給食センター）では民間委託のデメリットを聞きたかったので質問をしました。「センター側の指示はうまくいくのか」と聞いたところ、「業者は『中に入ってもらってよい。気づいたことをチェックし、責任者へ伝えてほしい。即改善する。』という姿勢で、指示したことは翌日には改善されている。軌道に乗るまでは大変でしたが、改善できる。」とのことでした。

事務局：視察で確認できたことを何点か説明します。

- ・栄養士としては調理・衛生・確認という意味で、すべて書類で上がってくるのでその分業務が増える。
- ・たとえば業務におけるペーパータオルの捨て方など、調理における事細かな具体的な部分をマニュアル化していかなければいけない。
- ・献立は、今は前日打ち合わせをしていますが、早くから細かい打ち合わせが必要になる。栄養士の仕事が増える。

- ・民間委託後の嘱託調理員の扱いは、所長が個別懇談し、意思を確認し、引き続き民間業者の雇用を希望する調理員については、市が業者へ採用推薦した。賃金については個人交渉とのことでした。センター勤務している調理員優先の雇用でした。
- ・業者はリーダーを育てていく気持ちを持っており、従業員管理はしっかりしている。また、思っていたよりも多くの人数を確保して作業している。フレックス制を取り入れたりもしている。
- ・栄養士の指示がいきわたるか不安があったので、現場に入って監視していた。直接指示は原則できないが、危険を伴う場合は直接指示できるように協議した。
- ・住民の不安を取り除くため、事前に試食会を実施した。
- ・業者選定時に要求書のレベルを高くしておく必要がある。給食センターの運営経験がない業者が入札に入ってきたりするかもしれない。実績のある業者を選ぶほうがよい。
- ・アレルギー対応や事故対応などは、会社の信用にもつながるのでしっかりやってくれている。

委員：民間委託になると、正職２名はどうなるのですか。

事務局：町職員なので引き続き働いていただきます。同じ業種のキッズランドの調理員などに配属を考えています。

委員：いつから民間委託する予定で考えているのか。

事務局：業者選定できるまで一年かかると聞いています。引き継ぎは２週間程度でできるらしいです。民間委託が決まれば、より早く業者選定するほうがよいと考えています。

【まとめ】

次の委員会でもとめてもよいかという委員長の問い掛けに対して、このメンバー（委員会）としての答申を出すにはあと１回ではまとまらないのではないかという意見があり、もう少し検討していくことになった。

今回は、業者への要求書に盛り込む条件など、業者選定に必要な事柄について協議をする必要があるという提案があった。

４． 閉会 21：20 高見副委員長

次回委員会は、**11月12日（木）19：30 中央公民館2F大会議室** で決定

■次回検討委員会までの申し合わせ

- ・傍聴可能とすることから、このことについて事務局より住民に広報する。

- ・委員がPTA、学校で事前に意見聴取しておく必要性はない。
- ・委員には会議までに事前に会議資料を提供する。